

その他の予防接種

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/Lot.No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks

<主なその他のワクチン(2010年12月時点)>

ヒブ: 細菌性髄膜炎や喉頭蓋炎の原因となる細菌を予防。
 標準は生後2か月から7か月までに接種開始。4週間毎に3回、1年後に1回の接種。
 生後7か月～5歳も接種可能。
小児用肺炎球菌: 細菌性髄膜炎や細菌性肺炎、細菌性中耳炎の原因となる細菌を予防。
 標準は生後2か月から7か月までに接種開始。
 4週間毎に3回、2か月以上あけた1歳以降に1回の接種。
 生後7か月～9歳も接種可能。
おたふくかぜ: 自然感染では髄膜炎(100人に1～10人)、難聴(1000人に1人)を合併。
 1歳以降接種可能。1歳代と小学校入学前年度の2回接種を推奨。
水痘(みずぼうそう): 自然感染では帯状疱疹発症のリスク。一部の人で重症化。
 1歳以降接種可能。1歳代と2年後～小学校入学前年度の2回接種を推奨。
ヒトパルボウイルスワクチン: 子宮頸癌を予防。成人後の子宮頸癌検診は必要。
 10歳以降の女性で接種可能。1か月毎に2回、半年後に1回接種。
B型肝炎ワクチン: B型肝炎ウイルスによる肝炎と肝癌を予防。
 生後すぐから接種可能。4週間毎に2回、半年後に1回接種。
インフルエンザ: 自然感染時の重症化を予防。
 毎年の接種が必要。年齢により接種回数が変わります。

* 年齢により接種回数が変わるものワクチンもありますが、待つ分のリスクが高まりますので
 早めの接種が推奨されます。異なるワクチンの同時接種も大部分は可能です。

その他の予防接種

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/Lot.No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks

<主なその他のワクチン(2010年12月時点)>

ヒブ: 細菌性髄膜炎や喉頭蓋炎の原因となる細菌を予防。
 標準は生後2か月から7か月までに接種開始。4週間毎に3回、1年後に1回の接種。
 生後7か月～5歳も接種可能。
小児用肺炎球菌: 細菌性髄膜炎や細菌性肺炎、細菌性中耳炎の原因となる細菌を予防。
 標準は生後2か月から7か月までに接種開始。
 4週間毎に3回、2か月以上あけた1歳以降に1回の接種。
 生後7か月～9歳も接種可能。
おたふくかぜ: 自然感染では髄膜炎(100人に1～10人)、難聴(1000人に1人)を合併。
 1歳以降接種可能。1歳代と小学校入学前年度の2回接種を推奨。
水痘(みずぼうそう): 自然感染では帯状疱疹発症のリスク。一部の人で重症化。
 1歳以降接種可能。1歳代と2年後～小学校入学前年度の2回接種を推奨。
ヒトパルボウイルスワクチン: 子宮頸癌を予防。成人後の子宮頸癌検診は必要。
 10歳以降の女性で接種可能。1か月毎に2回、半年後に1回接種。
B型肝炎ワクチン: B型肝炎ウイルスによる肝炎と肝癌を予防。
 生後すぐから接種可能。4週間毎に2回、半年後に1回接種。
インフルエンザ: 自然感染時の重症化を予防。
 毎年の接種が必要。年齢により接種回数が変わります。

* 年齢により接種回数が変わるものワクチンもありますが、待つ分のリスクが高まりますので
 早めの接種が推奨されます。異なるワクチンの同時接種も大部分は可能です。